

10.9%増の96億円要求

厚生労働省は、18年度政府予算の概算要求で、17年度予算の86.6億円を10.9%上回る96.1億円の「地域介護・福祉空間整備交付金」を要求した。地域密着型サービスを提供するための面的基盤整備や広域型の特別養護老人ホーム整備などに充てるほか、既存の特別養護老人ホームや老人保健施設などの個室・ユニット化を促進したい考えだ。

同省は、18年度の「地域介護・福祉空間整備交付金」の交付に当たっては、一定のルールを設ける方針を固めている。都道府県交付金の交付水準は、施設整備が進んでいる都道府県を高く設定し、市町村交付金は、介護サービス基盤整備の遅れている地域に優先的に交付。特別養護老人ホームなどの施設入所系サービスやケアハウス

見える土木部の整備目標

ホームページに公開

土木部は25日、「見える土木部の整備目標」(画2005)を公表した。土木部の整備目標として、

PDFを使った建築業の文書管理効率化



電子納品などで、すでに建設業界でも活用が広がっている「PDF」の機能を活用して、「PDF」による建築業の文書管理の効率化」を提案する。同社の目指す文書管理の在り方とは、アクロバットで提供される機能は、同社マーケティング本部、インテリジェント・ドキュメント部の市川孝部長に話を聞いた。

時間・コストを削減

「時間・コスト」を削減。「言った、言わない」「手戻り」回避。これが重要なことと考えます。そこでなれば、施工、設計事務所、ゼネコン、サブコンなど多くの関係者がかかわり、施工者にはVET提案に伴う設計変更や工期短縮など、さまざまな業務の効率化も顧客

アドビシステムズが提案

「PDF」の機能を活用して、下、リター」を使って、限に引き出し、こうした課題への解決策を提案していきます。

満足も獲得できません。アドビシステムズでは、最新の「アクロバット7.0プロフェッショナル」(以下、アクロバット)と無償の「アドビリーター7.0」(以下、ビリーター)に、図面の管理に、あま

「無償のリター」にも「注釈」機能。関係者を使う「注釈」を付け加えることができます。

この機能は、これまでの文書交換する関係者がすべて「アクロバット」を持っていないとできなかったのですが、今回「リター」に機能追加したことで、グループの核となる企業、ゼネコン、工務店などが「アクロバット」を導入して、関係者は無償の「リター」を使えば、メールで文書交換の際にも情報の散在、欠落を防ぐことができます。その文書を読むには無償のリターが一つあればいいのです。

異なるフォーマットの文書を結合。散在、欠落を防止

30日、パト

県産業廃棄物協会 伊佐支部(橋本支部)は30日午前8時から、支部管内のパトロールを行う。

29日、安全パト

県建設業協会 鹿児島支部(川俣俊彦支部長)は29日午前8時50分から、鹿児島市内5カ所を2班に分かれ安全パトロールを実施する。

来月1日、県庁で

災害に関する知識普及と防災意識の向上を図る「17年度防災安全地方研修会(自主防災組織リーダー養成研修会)」が9月1日午後1時20分から、鹿児島市の県庁で開かれる。主催は県、消防科学総合センター、鹿児島市。対象者は、市町村防災

道守交流イベント

あす、照国通りで

道守がこしめ会議、鹿児島道事務所、大隅河川国道事務所の主催による「道守交流イベント」が27日午後1時から、国道225号照国通りで開かれる。当日は、中央公園側の歩道(緑地帯)で物産市やパネル展示を行うほか、

か、官民の協働についてディスカッションする交流集会、道端の史跡等を巡るウォーキングツアー等を実施。各種イベントを通して、道守活動の周知とともに活動のさらなる活性化、ネットワークの拡大を図る。

防災安全地方研修会

災害に関する知識普及と防災意識の向上を図る「17年度防災安全地方研修会(自主防災組織リーダー養成研修会)」が9月1日午後1時20分から、鹿児島市の県庁で開かれる。主催は県、消防科学総合センター、鹿児島市。対象者は、市町村防災

「つくり方」

1. 魚は頭を落として内臓を除き、塩水で洗って水けを拭き、かたくり粉をまぶす。
2. 玉ねぎときゅうりは薄切りにする。
3. aをよませ、赤唐辛子の種を取って小口切りにして入れる。
4. 揚げ油を中温に熱し、1をゆっくり揚げて一度取り出し、温度を上げて二度揚げしてからと仕上げる。
5. 3に4を熱いまま入れ、2で煮よううに味か染みるまで漬ける。

旬のタレクチやイワシ、アジ、サバコなど小さめの魚を唐揚げにして、骨ごと食べる南蛮漬。冷やしてもOK。

今夜の簡単レシピ
魚の南蛮漬